

第3学年 学級活動(1)学習指導案

令和5年11月1日(水)第5校時

1 議題 「後輩に伝統を伝える会をしよう」

内容 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 議題について

(1)生徒の実態

※省略

(2)議題設定の理由

大きな学校行事を終え、いよいよ2学期も終わりに近づき、今年度の主な団活動は「後輩に伝統を伝える会」のみとなった。この活動を区切りに3年生は、進路に向けて自己実現を図っていく。この最後の団活動により、理想的な背中「先輩の勇姿」を見せ、太田中学校の伝統を紡ぐという思いを後輩に自覚させたい。

本実践では、これまで団活動で一緒に活動してきた後輩に感謝の気持ちと伝統を守ることの大切さを伝えるために、最後に相応しい具体的な内容や勇姿を示す方法について話し合い活動を行う。その上で、伝統を紡いでいく思いと太田中生としての誇りをもたせ、実りある活動を通して、生徒一人一人が仲間と協力しながら、よりよい学校生活を構築していこうとする態度を育成したい。最終目標として、「進路決定や自己実現、卒業期に向けての目標や取組を考える態度を育成する。」「これまで共に活動してきた後輩に感謝し、よりよい集団を目指そうとする態度を育成する。」を設定した。この2点を生徒自身の力で達成・実現したいと考え、本議題を選定した。

3 研究主題とのかかわり

「自ら学び、共に学び合う生徒の育成」

学級活動の話し合い活動は、よりよい学校生活を構築するための基盤となる活動である。学級での話し合いを通して、生徒自ら企画・立案することは、主体的に活動することの楽しさや大切さを感じるとともに、生徒による自治的な学級経営につながる。また、自分とは違う他者の考えを知る楽しさや話し合っ折り返いを付けることの学習は、互いに尊重し、よさを認め合える望ましい人間関係をつくるために必要なことである。基本的な話す・聞く態度を身に付けること、自分の考えをまとめ他者へ分かりやすく伝えることは、主体的に学ぶ姿勢を育成する観点からも重要な活動である。本時では、後輩に感謝する方法を考え、話し合うこと

を通して、自ら企画・立案することの創造性や主体的に活動することの楽しさを感じ取らせたい。その上で、よりよい学校生活を構築していこうとする態度を育成していく。また、これまでの本学級での話し合い活動では、学級会カードを用いていなかったため発言の機会での積極的な挙手が一部の生徒に偏る傾向があった。本時では、事前に学級会カードに意見を記入し、自分の考えや理由を整理させることで、これまで積極的に挙手のなかった生徒が自信をもって発表できるようにする。さらに、義務教育最終学年の話し合いの姿として目指すべきものは、話し合いの知識を理解した上で、そこにとらわれることなく、きちんと合意形成を図ることができるものとする。そのため、提案理由や議題の選定を生徒の生活に密接に関わるものにし、一人では解決できないと感じさせ、他人の意見を知りたくなるものにした。また、話し合いの議論をより深めるために、隊形に工夫をし、グループトークやペアトークなどの手法も積極的に取り入れさせたいと考える。

4 評価規準

集団活動や生活についての知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするためにの課題を見出している。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	生徒の活動 ○学級活動委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
10/19 (木) 昼休み	○これまでの団活動についてアンケートを作成する。	・体育祭だけでなく、音楽祭(10/21)まで見通して、作成をさせる。	
10/23 (月) 朝の会	●団活動についてアンケートを実施する。	・これまでの団活動についてキャリアパスポートなどを振り返って記入させる。	◎団活動のよさを理解し、感謝と伝統について、考えている。【態】(アンケート)
10/23 (月) 帰りの会	○アンケートを基に議題案と提案理由の検討・選定をする。	・議題選定の理由を明確にし、アンケートを利用し、話し合いの必要性などを考えながら、議題を選定する。	◎最上級生として学校全体に感謝と伝統を伝えるため、進んで議題案を出そうとしている。【態】(観察)

10/24 (火) 帰りの会	● 議題を決定する。	・ 計画委員の提案をもとに学級全体で決定する。	◎ 最上級生として学校全体に感謝と伝統を伝えるため、進んで議題を選ぼうとしている。【態】(観察)
10/24 (火) 放課後	○ 活動計画を作成する。 ○ 提案理由を再度練り上げる。 ○ 話合いの目標、役割を決める。 ○ 話合うことを検討する。 ○ 学級会カードを作成する。	・ 活動計画、提案理由、話合いの目標、役割、話合いの柱について、日時や場所などに注意させ作成できるよう助言する。	◎ 提案理由を踏まえながら、それぞれの決定する事項について考えている。【思】(発言・観察) ◎ 役割や決定事項について、話合いの進め方を理解している。【知】(活動計画・観察)
10/25 (水) 朝の会	○ 活動計画を全員に知らせる。 ● 学級会カードに自分の意見を記入する。	・ 提案理由と日時や場所について考えさせながら、意見が出せるようにする。	◎ 感謝と伝統を伝えられるような案を考えている。【思】(学級会カード)
10/25 (水) 帰りの会	○ 学級会カードを回収し、意見を分類する。 ○ 意見を短冊に記入する。	・ 短冊の内容についてわからないものを確認する。	◎ 感謝と伝統を伝えられるような案を再度考えている。【思】(学級会カード)
10/26 (木) 帰りの会	● 各意見について、共通理解する。	・ 話合いで意見が活発になるように、教室に掲示しておく。	
10/31 (火) 昼休み	○ 学級会カードの要点を確認し、話合いの見通しをもつ。	・ 話合いが停滞した時、決定に困った時などを想定して、どう対処するのか確認しておく。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

- 話し合い活動を通して、意見を理由とともに述べ、他者の意見を大切にしながら活動の目標や取組方法を考え、合意形成を図ることができるようにする。
- 各自が学級集団や最高学年としての自覚をもち、伝統を後輩に伝えながら、学級と学校の両方において、よりよい集団を目指すことができるようにする。

(2) 指導計画

段階	活動の計画	○指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法 【観点】(評価方法)
活動の開始 5分	1 はじめの言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明	○司会が自信をもって取り組めるように、話し合いの進め方マニュアルを用意し、マニュアルに沿って話し合いを進められるようにする。	
	<p>【提案理由】</p> <p>今まで行ってきた団活動が今学期で区切りを迎えようとしています。各行事を成功へ導いた私たちクラスや団の力は素晴らしいものでした。しかし、今年度、新たに交流の場が広がった団活動は、まだ後輩に浸透しておらず、活動の素晴らしさや私たちの思いを伝えることが先輩としての最後の努めだと思えます。そこで、今まで一緒に活動してきた後輩に伝統を伝える会をすることで、私たちの思いを伝え、来年度以降の団活動につなげてほしいと思い提案しました。</p>		
	5 決まっていることの確認 6 教師の話	<ul style="list-style-type: none"> ・12月12日の放課後に約15分、後輩に思いを伝える場があること。準備するのは朝の時間と昼休みが主な時間になることを伝える。 ・担任から今回の話し合いの目標と意義について生徒の意識が向くように説明する。 	
活動の	7 話し合い	○話し合いが停滞したり、それたり、話し合いのために必要な学びがある場合は積極	◎提案理由を理解し、話し合いに、積極的に参加している。【態】

<p>展開 35分</p>	<p>①どのような方法で、後輩に伝統や我々の思いを伝えるか。</p> <p>②この先も団活動が続いていくためにできる工夫。</p> <p>③係やリーダーを決めよう。</p> <p>8 決まったことの確認</p>	<p>的に助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案理由を常に意識させる。 ○理由を踏まえた意見を出させる。 ○他者の意見を大切にできるようにする。 ○多くの生徒が発言できるよう司会と協力しながら、話し合いを進める。 ○話し合いの時間を確認させ、時間内に話がまとまるようにする。 <p>・要約してはっきりと伝えるよう事前に指導する。</p>	<p>(観察)</p> <p>◎提案理由に基づいて仲間の考えのよいところや自分の意見との違いを考えながら互いのよさを生かした方法を、理由を示して述べている。</p> <p>【思】(観察) (学級会カード)</p>
<p>活動のまとめ 10分</p>	<p>9 話し合いの振り返り</p> <p>10 感想発表</p> <p>11 教師の話</p> <p>12 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの反省や、今後の取組について記入できるようにする。 ・司会から話し合いを高めた意見を紹介する。 ・学級活動委員の活動を称賛し、前回との変容や今回の課題を示すとともに、合意形成に至った過程や考えた意見を認め、話し合いで決まったことが円滑に進むよう呼びかける。 	<p>◎話し合い活動で決まったことを自主的・実践的に取り組もうとしている。【態】 (学級会カード)</p>

6 事後の活動

日時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
11/2 (木)	・決定事項を学級に掲示する。	・決定事項の要点を分かりやすく書けるよう助言する。	
11/2 (木)	・役割分担を行い、リーダーを集め、準備計画を立てる。	・具体的な仕事を確認して、準備が円滑に進められるようにする。	
11/6～ (月)	・会に向け、準備や練習をする。	・取組が成功するよう、時間や進捗状況を適宜確認し、生徒と共有する。	◎自己の役割を理解し、クラスメイトと協働しながら、実践している。 【思】(観察)
12/12 (木)	・「後輩に伝統を伝える会」を行う。	・準備してきたことが円滑に進み、全員が思いを伝えられるよう声掛けをする。	◎準備してきたことに全力で取り組み、感謝と伝統を後輩へ伝えようとしている。【態】(感想、観察、振り返りシート、)
12/12 (木)	・振り返りをする。	・自分の活動とクラス全員の成果を記入させ、今後の活動の意欲につなげる。 ・話合いや実践のよかった点や課題等をまとめるよう助言する。	◎自己の取組や全体の成果を振り返り、次の活動やこれからの生活に生かそうしている。【態】(振り返りシート・観察)